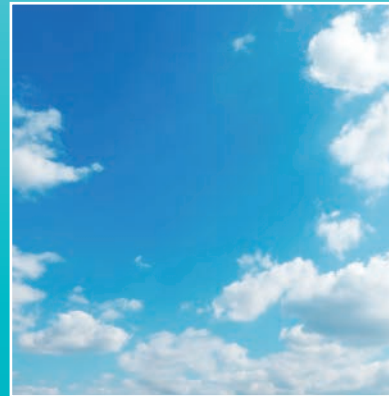




# 会社案内 2021

MAKITA Corporate Profile 2021



Live **Green**  
&  
Grow **Strong**



# 「Stro

## 世界各地 地球環境

マキタは1915年の創業以来、現場主義を貫いてお客さまが求める製品・サービスの提供に尽力してきました。100年を超える歴史を重ねた今もこの精神は変わっていません。ここまで事業活動を拡大することができたのは、世界中のお客さまをはじめ、取引先さまや関係する皆さまのご支援・ご協力のおかげです。

現在、マキタは充電製品を軸として、環境問題をはじめとした社会課題の解決を通じた成長を実現すべく、電動工具のみならず園芸用機器、清掃・アウトドア製品を含めた「充電

製品の総合サプライヤー」への進化に取り組んでいます。業界をリードするバッテリー充放電技術とモータ技術を活かし、ありとあらゆる製品で充電化（コードレス化・脱エンジン）を推進することで、お客さまの安全性・利便性・快適性の向上、排ガス・騒音・燃料消費の低減などに寄与していきます。また、サービス面でも進化を続けます。世界各地に築いている販売・サービス拠点網が当社の大きな強みであり、迅速な物流・修理といったサービス体制をより一層強化していくことで、世界各地の作業現場と

# 「Strong Company」の実現を目指して

## の作業現場と

## への負荷軽減・脱炭素に貢献する

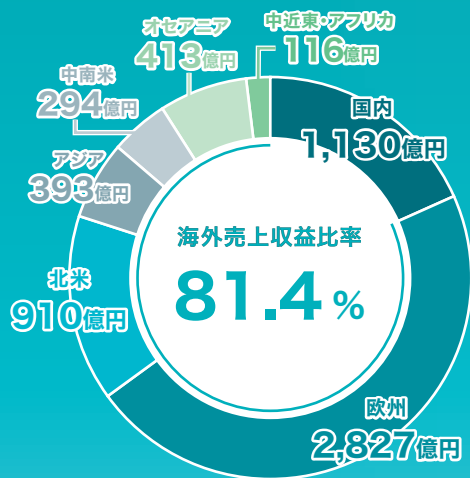
地球環境への負荷軽減・脱炭素に貢献していきます。  
今後マキタが重点的に取り組んでいくのは環境問題への対応です。使用時の排ガスがゼロの充電式園芸用機器へ注力していくとともに、再生可能エネルギーの活用や省エネルギー活動等を通して脱炭素社会の実現に貢献します。さらに、当社製品の包装等に使用される使い捨てプラスチックを削減する脱プラスチックも引き続き推進するなど、皆さまの生活においてなくてはならない企業であり続けるよう努めてまいります。  
マキタは、いかなる経営環境のもとでも持続していくために、

その事業対象をモータから電動工具に転換させたように、今後も様々な新しい挑戦に取り組んでまいります。当社が掲げる「社会と共に生きる経営」「お客さまを大切にする経営」「堅実かつ積極的な経営」「質実剛健の社風を大切にし、一人一人の能力を活かす経営」を根幹として、企業活動を通じ持続可能な社会の実現に貢献し、当社の長期目標である「Strong Company」の実現を目指します。

取締役社長 後藤 宗利



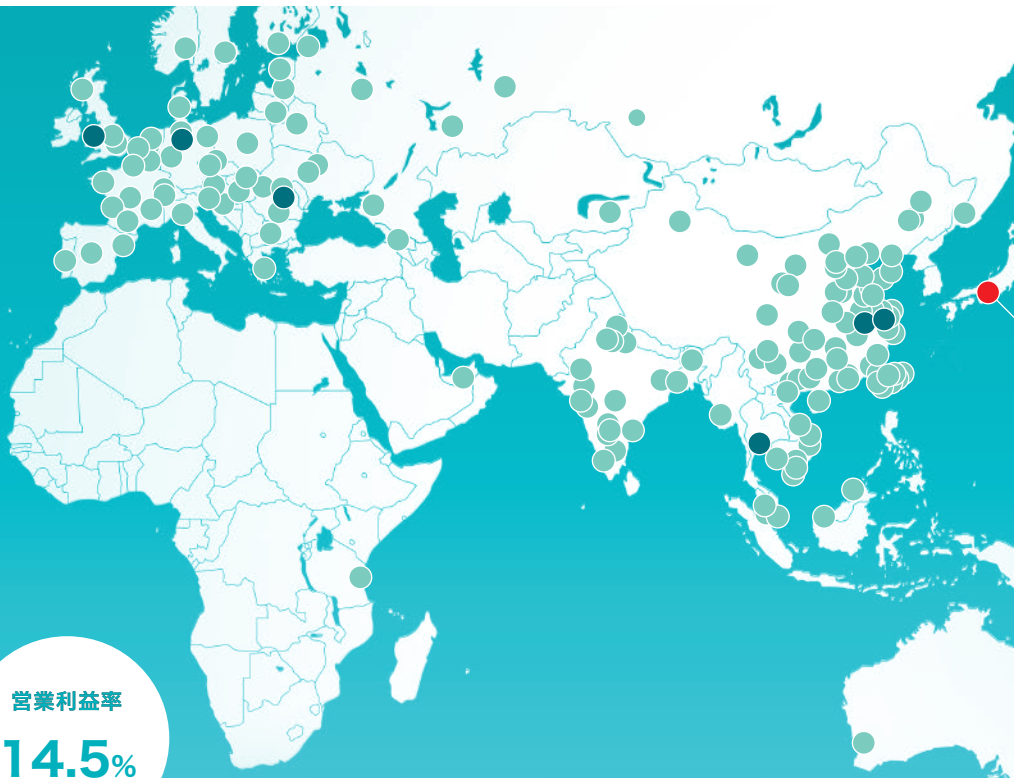
# マキタ早わかり Makita Group



売上収益  
**6,083億円**

営業利益  
**885億円**

営業利益率  
**14.5%**



**1915**

## 牧田電機製作所を創業

名古屋にて個人経営で、電灯器具、モータ、変圧器の販売修理を開始。



**1958**

## 電動工具メーカーへ転換

独自製品の開発が重要課題に。国産第1号の電気カンナ(1000)を発売し、新たに電動工具メーカーとしての歩みを始める。



**1969**

## 充電式工具の誕生

充電式工具第1号の電池ドリル(6500D)を発売。



**1978**

## ニッカド電池第1号の製品を発売

カートリッジ式のニッカド電池を使用した10mm電池ドリル(6010D)を発売し、これを契機に充電式工具の市場が急速に拡大した。



**1938**

## 法人組織 株式会社牧田 電機製作所へ

個人経営を株式会社に改組し、株式会社牧田電機製作所を設立。

**1962**

## 社名変更と株式公開

株式会社マキタ電機製作所に商号変更し、名古屋証券取引所市場第二部に上場。



**1970**

## 世界戦略への第一歩

アメリカにて初の海外現地法人、マキタU.S.A.Inc.を設立。その後フランス、イギリス、オーストラリアなどにも進出し、「世界のマキタ」へと成長していった。



**1985**

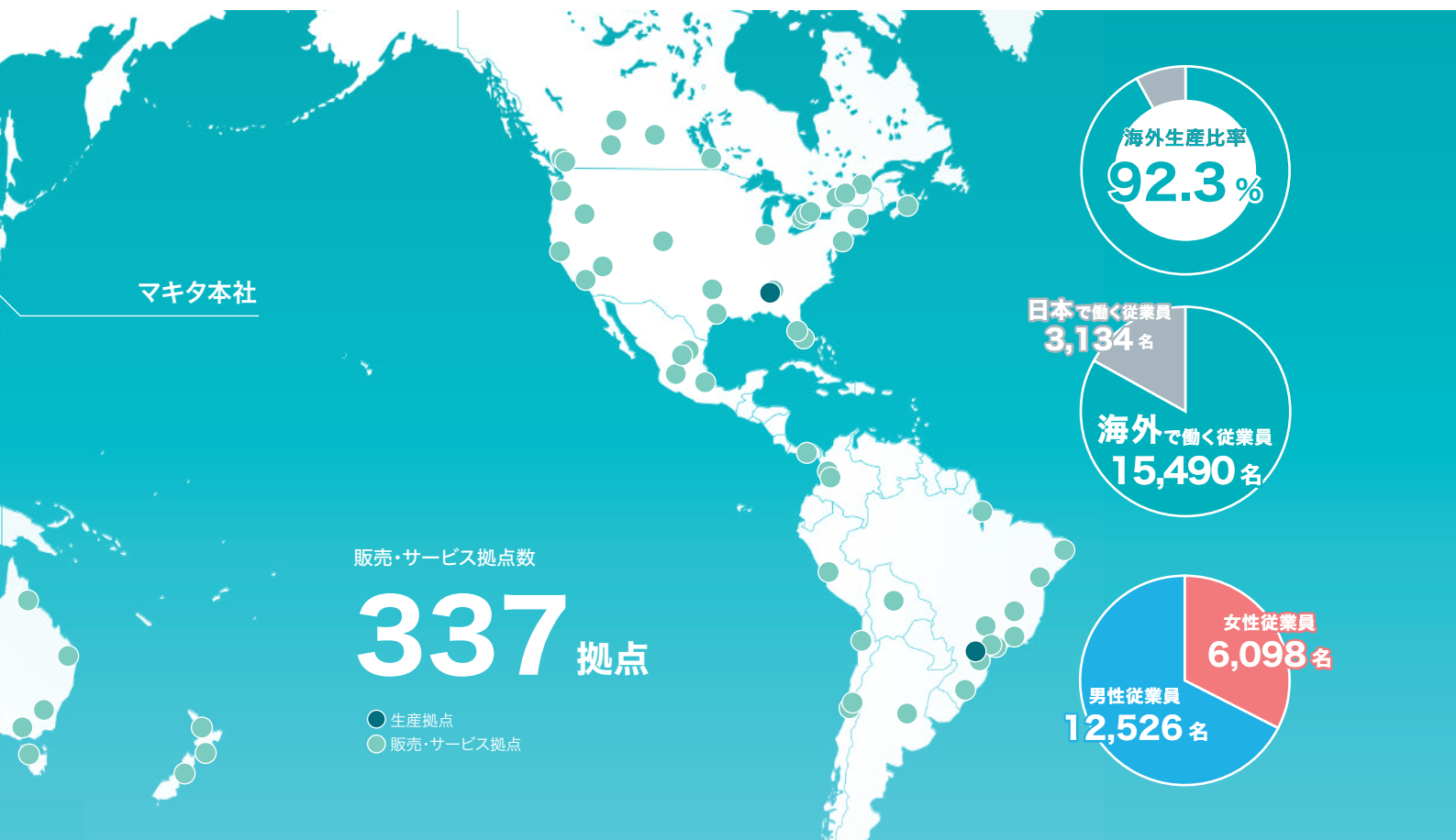
## 初の本格的海外現地生産

アメリカにて生産子会社(マキタ・コーポレーション・オブ・アメリカ)を設立し、本格的な海外現地生産を開始。





1915年(大正4年)、マキタはモータの販売修理会社として産声をあげました。その後国産初の携帯用電気カンナを発売以来、電動工具メーカーとしての地歩を固めてきました。現在は「充電製品の総合サプライヤー」へと進化を続けており、世界中に販売・サービス、生産ネットワークを展開しています。



(2021年3月31日現在)

1991

#### 企業イメージの一新

新しいマキタの創造に向けて、商号を株式会社マキタに変更し、シンボルマークや社名ロゴなどを一新。



1997

#### 世界で初めてニッケル水素バッテリーを使用した製品を発売

ニッケル水素バッテリー第1号の12V充電式ドライバドリル(6213D)を発売。



2005

#### リチウムイオンバッテリー製品の発売

業界に先駆けてプロ向けのリチウムイオンバッテリー工具第1号の充電式インパクトドライバ(TD130D)を発売。電動工具の小型軽量化、ランニングコストの低減などを実現した。



2015

#### 創業100周年を迎える

次の100年も存続する企業となるべく、新たな決意を胸にした。



1993

#### グローバル企業へのさらなる邁進

中国にて牧田(中国)有限公司を設立し、生産を開始。後に、当社生産拠点の中核となる。



#### マキタ環境元年

マキタ環境委員会を発足。マキタ地球環境憲章を掲げ、環境保護活動を積極的に推進していくことを表明した。



2019

#### Li-ion 40Vmaxシリーズを発売

従来のバッテリーよりもハイパワー、長寿命、高耐久を実現した充電式工具シリーズを発売。また充電を最適化するシステムを搭載するなど、さらなる技術革新を続けている。



# 事業内容 Makita's Description of Business

「人の暮らしと住まい作りに役立つ工具のグローバルサプライヤー」として、電動工具や園芸用機器をはじめ充電製品を中心に製品ラインアップを幅広く展開し、お客さまの多様なニーズに応えています。また、1つのバッテリーで数多くのマキタ製品に使用することができるため、バッテリーの高い互換性と豊富な製品ラインアップが大きな強みとなっています。

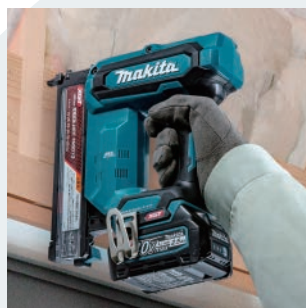


充電式  
インパクトドライバ

## 建築 ・ 建設

### 住まいづくりをダイレクトにサポート

住宅やビルの建築現場や工場など様々な場所で使用されます。当社は1958年に国産初の携帯用電気カンナを発売して以来、穴あけ・締付け・切断・研磨などの作業を快適に行えるよう、独自の技術開発に取り組み、確かな技術力で豊富なラインアップを取り揃えています。



充電式仕上釘打



充電式防じんマルノコ



充電



充電式グリサン



充電式マルチツール



充



充電式  
アップライト  
クリーナ

## 清掃

建築現場のみならずオフィスや店舗、倉庫の清掃など幅広いニーズに応えるべく、機動性に優れた製品、吸引力と耐久性を高めた製品、騒音を抑えた製品など幅広く展開しています。



充電式集じん機



充電式背負クリーナ



充電式クリーナ



エアコンプレッサ



高圧エア釘打

## エア 工具





充電式草刈機

## 園芸

### 自然と共存し、より豊かな暮らしを

手軽なガーデニングからプロによるハードな作業まで、幅広い製品群が緑豊かな暮らしの空間づくりをサポートします。当社は環境との調和を目指して、エンジン式に匹敵するパワーを有しながら「排ガスを出さない」「燃料を必要としない」「始動時の手間がない」「圧倒的に低騒音」を特長とする充電式園芸用機器の展開を積極的に進めています。



充電式ポールバリカン



充電式ブロワ



充電式運搬車



式インパクトレンチ



充電式チェーンソー



充電式芝刈機



充電式ヘッジトリマ



電式ハンマドリル

### 現場周辺 アウトドア 防災

現場で快適に作業ができる製品群を拡充しており、これらは現場だけでなく、アウトドアや災害時にもお役に立ちます。



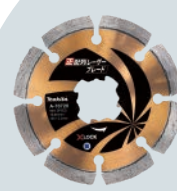
充電式産業扇



充電式スマートファンベスト



充電式ラジオ



ダイヤモンドホーイル



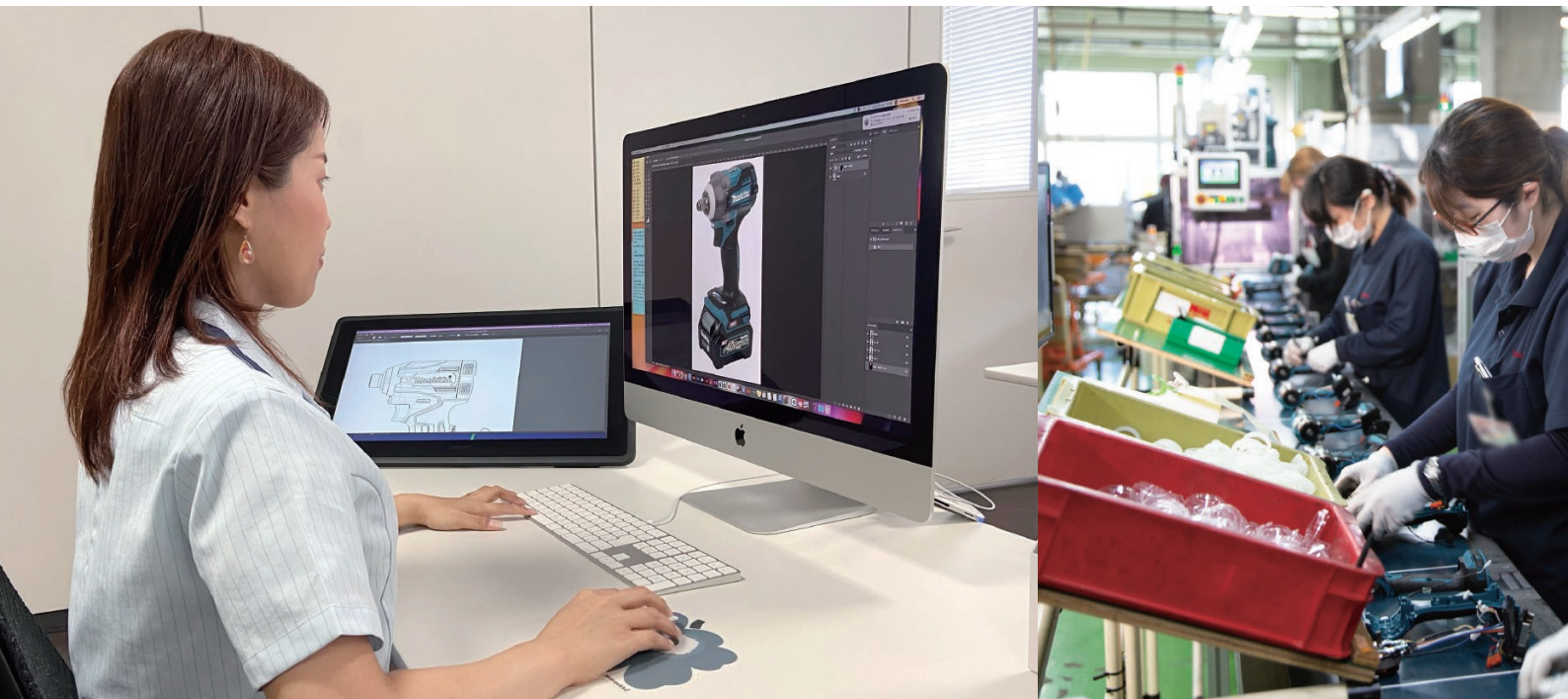
防護ジャケット

### アクセサリ



充電式  
保冷温庫





## 製品開発 品質保証

## 生

### 業界屈指の製品開発力

プロ用電動工具にいち早くリチウムイオンバッテリーを採用し、これをシリーズ展開する業界屈指の製品開発力を誇っています。

製品設計において、CAE解析などの先端技術を活用することで、長年にわたって蓄積された独自のノウハウをさらに強化し、信頼のブランドを築き上げています。また、機能だけにとどまらず、安全性やデザインの洗練性、ユーザーの作業環境および地球環境に配慮した製品設計を行っています。



### 設計から量産まで 品質を保証する体制

設計から量産まですべてのプロセスにおいて品質を保証する体制を構築しています。開発ではデザインインを強化し、不具合が発生しないよう設計をしており、その後、法令・規格、機能、耐久性など様々な観点から評価を行い、お客さまが満足して製品を使用していただけることを確認しています。



### グローバルな生産体制

世界8カ国（日本、中国、ルーマニア、タイ、イギリス、ブラジル、アメリカ、ドイツ）に工場を構えており、生産台数の約9割を海外工場で生産しています。今後も地域の需要に応じてスピーディに製品の製造・供給を行うために、さらなる生産能力の増強に取り組んでまいります。

### 同一品質のものづくり

安定した品質の製品を効率よく生産するため、自社製ロボットの開発や工場間での量産ノウハウの展開・共有を行っています。生産現場での省人化を進めるとともに、誰でもどの国で作っても同一品質の製品となるようにものづくりを進化させています。



マキタは、国内外に広がる開発・生産・販売サービスの一貫したネットワークを通じて、世界のユーザーニーズを的確に捉えた製品を、高い品質と業界屈指のサービスとともにお届けし続けます。



産

販売・サービス



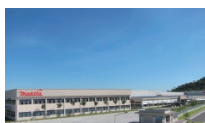
岡崎工場



中国工場



ルーマニア工場



タイ工場

### 業界随一のサービス網

海外では約50カ国の直営の営業拠点を、国内では123カ所の営業所を基盤に、顧客・地域に密着したきめ細かいサービスを提供しており、お客さまの作業効率・生産性向上に貢献しています。コロナ禍においては、業界随一の販売・サービス拠点網を活かし地域のお客さまに迅速に製品をお届けすることで、豊かな街づくり・生活づくりに貢献しました。



### プロモーション活動

展示会やセミナー、実演イベント、ユーザー訪問などを通じた各種販促活動を国内外で積極的に行っています。

また、アプリやAIを活用した問い合わせ回答システムを運用するなどDXを推進することで、顧客満足度や利便性の向上を図っています。





# 社会課題の解決 Contribution to Solving Social Challenges

## 脱炭素

エンジン製品から充電製品への切り替え



### エンジン製品と比較した充電製品のメリット

従来、草刈機やチェーンソーなどの園芸用機器はエンジン式が主流でした。しかしパワーやスタミナに優れている反面、排ガスによる環境への影響などの課題がありました。この課題に対し、排ガスゼロを特長とする充電製品への置き換えを推進することで、**脱炭素社会の実現**に貢献します。さらに充電化により、エンジン式園芸用機器の排ガスに含まれる大気汚染物質の排出がなくなることも、環境負荷軽減に貢献できるポイントです。

使用時に排ガスを出さない  
低騒音かつ低振動

- 環境負荷を軽減
- 作業者の身体への負担軽減
- 作業現場周辺環境の改善に貢献

燃料補給や始動の手間もなく軽量

- 女性や高齢者の方でも扱いやすい



※工具使用時





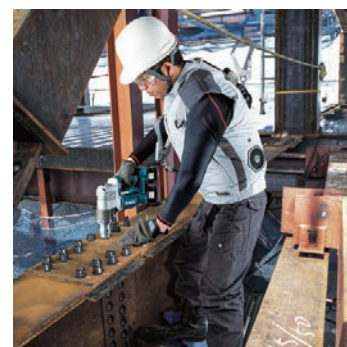
当社は製品とサービスを通して、環境問題をはじめとした社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献しています。環境にやさしく利便性が良い充電製品のラインアップ拡充を続け、充電製品の総合サプライヤーへの進化に取り組むとともに、世界各地においてきめ細かな販売・サービス拠点網を築くことで、物流・修理といったサービスを迅速に提供する体制の強化を図り、世界各地の作業現場と地球環境への負荷軽減・脱炭素に貢献します。

## 世界各地での都市・インフラ構築



建築・建設現場などで使用される電動工具や園芸用機器のグローバルサプライヤーとして、世界各地での都市・インフラ構築に貢献しています。

コロナ禍においては多くの地域でエッセンシャルビジネスとして、ロックダウン下であっても事業活動を認められたように、当社の製品は豊かな街づくり・生活づくりに必要不可欠です。



### コロナ禍における貢献

2020年は新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの地域において国境を跨ぐ移動制限が課されました。

当社はそのような状況下であっても、きめ細かな販売・サービス拠点網を活かすことで、地域のお客さまに迅速に製品をお届けし、各地域社会に貢献しました。

## コードレス製品への置き換え



かつて主流であったコード付きのAC製品を作業効率が良いコードレスの充電製品へ積極的に置き換えることで、**人手不足**という社会課題の解決に貢献しています。充電製品は、コードがないことによる作業効率の良さ・使いやすさといった利点に加え、電源コードへのつまずきといった現場での事故発生の予防に貢献します。さらに、電源確保が難しい場所でも使用することができるため、**作業現場での生産性向上**に貢献し、ひいては快適な街づくりを支え、気候変動により多発する災害からの早期復興も後押しします。



## 災害への備え



災害時などの電源確保ができない環境下においても、充電式クリーナなどで使用される当社のバッテリーで、ラジオやライトをはじめとした数多くの防災製品をご利用いただけます。また、専用のUSBアダプタを使用すれば、バッテリーからスマートフォンへの充電も可能であり、多発する**災害時に安心**をご提供します。



# 従業員 Employees

関連するSDGs



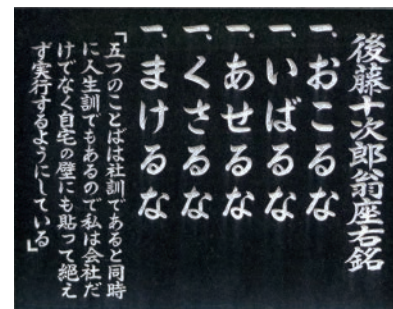
会社の成長を支えるのは、マキタで働く人財の力にほかなりません。当社では一人ひとりの従業員が最大限の力を発揮できる機会を提供しています。

## 人財育成

創業者の牧田茂三郎氏とともに当社の礎を築き、「電動工具の企業」へと当社を変貌させた後藤十次郎氏の人生訓でもある「**おこるな・いばるな・あせるな・くさるな・まけるな**」をベースとして、一人ひとりの従業員が、**最大限の力を発揮できる機会**を提供しています。

国内では、階層別に分けた研修制度のほか、工場実習研修などの各種研修や通信教育の受講制度を備えています。また、若手従業員が海外現地拠点でのOJTを通じてスキルを積み海外業務研修をはじめ**海外拠点への駐在機会**を積極的に設けています。

海外においても人財育成に努めており、生産拠点の中核である中国工場では、マネージャーに対してリーダーシップ向上や問題解決の研修などを行っております。

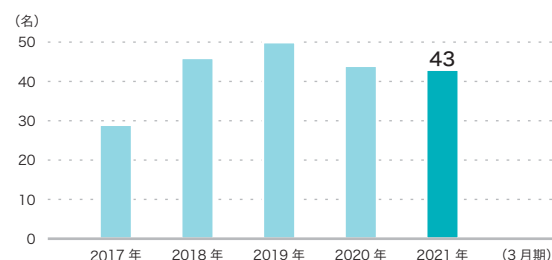


## 育児の支援

1990年に導入した**育児休業制度**の取得率は安定的に推移し、2度以上の取得もしばしば見られる状況にあります。2021年3月期の取得者は43名(男性:4名)で、2021年3月期の育児休業後の復帰率は100%(21名/21名中)となっています。

**育児短時間勤務制度**は1992年に導入し、現在では定着した制度となっています。2021年3月期の取得者は50名(男性:2名)です。

育児休業制度の取得者推移



## ダイバーシティの推進

### 外国籍社員の雇用

マキタグループ社員の**約8割**は**海外における現地採用者**です。また、外国人執行役員を登用するなど、外国籍の社員が活躍しています。日本でも明日のマキタを担うグローバルな人財育成の一環として留学生を採用しています。

### 女性の活躍

女性正社員の平均勤続年数は男性とほぼ同じ(男性:17.2年、女性:16.8年)であり、様々な部門で活躍しています。また、グループではマネージャークラスの女性が**190名以上**在籍しており、マキタのグローバルな事業基盤を支えています。

引き続き、女性が安心して活躍できる環境・職場づくりを推進していきます。

### 障がい者・高齢者の雇用

その他にも、障がい者の採用を継続的に行うとともに、60歳の定年退職後も引き続き勤務を希望する社員に対しては再雇用を行うなど、多くの従業員に活躍の場を提供しています。





# 環境 Environment

関連するSDGs



当社は、持続可能な社会の実現に貢献するため、気候変動対応や脱プラスチックなど、環境へ配慮した企業活動を推進しています。

## 気候変動対応

### 製品での取り組み

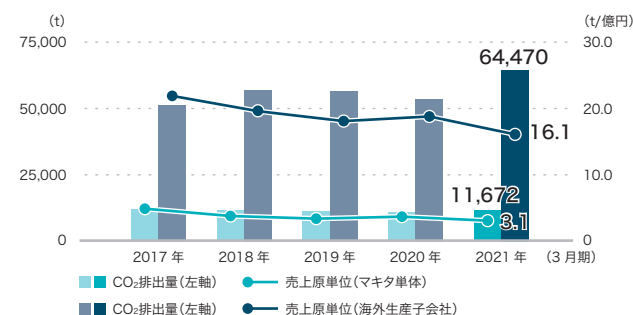
従来、園芸用機器はエンジン式が主流でしたが、排ガスによる環境面への影響が大きな課題でした。当社は使用時の排ガスがゼロの充電式園芸用機器に注力することで、**脱炭素社会の実現に貢献**しています。また、世界的な環境問題に対する意識の高まりや、利便性が高い充電製品に対するニーズの拡大といった状況を踏まえ、当社は2022年3月末をもってエンジン製品の生産を終了することを決定しました。



### 事業活動での取り組み

CO<sub>2</sub>排出量削減に向けて、LED照明、高効率機器（空調、コンプレッサ、生産設備等）の導入などの省エネ活動に加え、従業員の環境意識向上を図るため、省エネ推進資料の配布、オフィスや工場の省エネ状況の定期的なパトロールなどを通じた啓発活動を実施しています。また、国内の当社所有の営業所については、順次太陽光パネルを設置していきます。海外でも太陽光パネルの設置や地中熱を利用した冷暖房システムの導入を行っている子会社もあり、**再生可能エネルギーの活用を推進**しています。2020年度は売上増加に伴い排出量が増えましたが、売上原単位では減少しています。

### CO<sub>2</sub> 排出量の推移（Scope1、Scope2）



マキタS.p.A. (イタリア) の社屋の屋根に設置された太陽光パネル

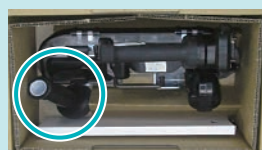
## 脱プラスチック

当社は持続可能な社会の実現および生物多様性の保全に貢献するため、「**当社製品の包装に使用する使い捨てプラスチックの削減**」に取り組んでいます。従来からの包装の簡素化の取り組みに加え、2021年3月期からは当社製品の包装に使用されるポリ袋などを削減し、紙製などの環境にやさしい素材への切り替えを進めています。

### 脱プラスチックの事例



従来：ポリ袋入り



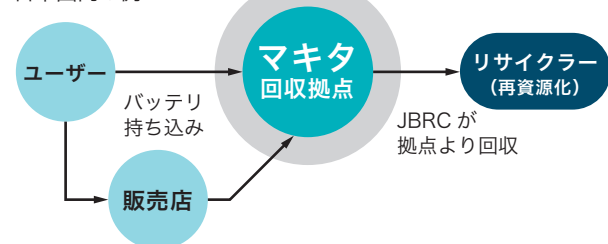
現在：ポリ袋を削減

従来は製品の傷つき防止のため、部品をポリ袋に入れていましたが、内材を工夫し部品を固定することで、ポリ袋を削減しました。

## バッテリーのリサイクル

国内では、一般社団法人「JBRC」の会員として、「資源の有効な利用の促進に関する法律」に基づき、バッテリーの**自主回収**および**再資源化活動**に取り組んでいます。海外では各国の法令や制度等に合わせ、バッテリーの適切な回収を販売店や専門の機関と協力しながら行っており、多くの国・地域で回収のシステムを構築・運用することで、資源循環を進めています。

### 日本国内の例





## 地域社会 Local Communities

スポーツ・文化活動への協賛、災害支援など、それぞれの地域に密着した活動を通じ、社会とともに成長していくことを目指しています。

### タイ

#### 近隣幼稚園・小学校へボランティア活動

従業員が地域の幼稚園と小学校へ物資寄附を行い、地域社会の子供たちの健やかな成長を応援しました。



### オランダ

#### 木工学校のプロジェクを支援

ものづくりに対する関心を高めてもらうため、木工学校の生徒たちによる、ボートを一から建造するプロジェクトを支援しました。



### アメリカ

#### スポーツイベントへ協賛

スノーモビル大会に協賛し、地域のスポーツ振興に貢献しました。



### 日本

#### 地域の中学校へ出張授業

社会貢献活動の一環として、近隣中学校の生徒にSDGsについて知見を深めていただくために、出張講義を行いました。



## コロナウイルス対応

コロナ禍で対面での活動が制限される中においても、販売店・代理店にマキタ製品の使用・メンテナンス方法や製品知識・修理のオンライントレーニングを行うことで、地域の困りごとに対応しました。

### オンライントレーニングの様子

#### ポーランド



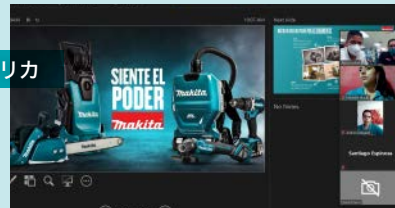
#### スロベニア



#### オランダ



#### ラテンアメリカ



# 会社概要 Corporate Data

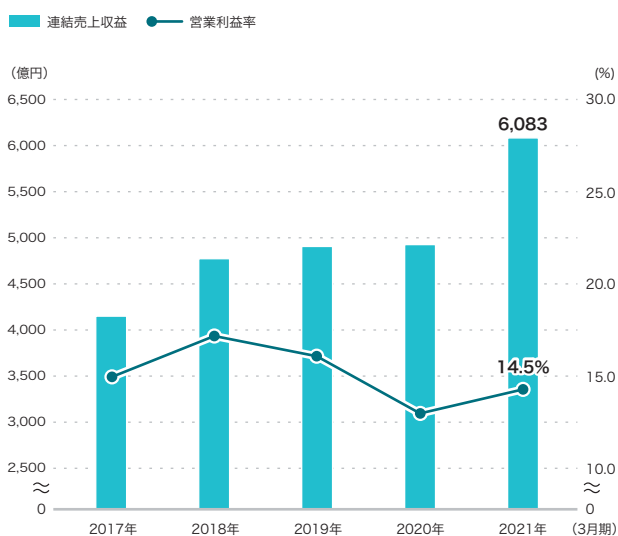


(2021年3月31日現在)

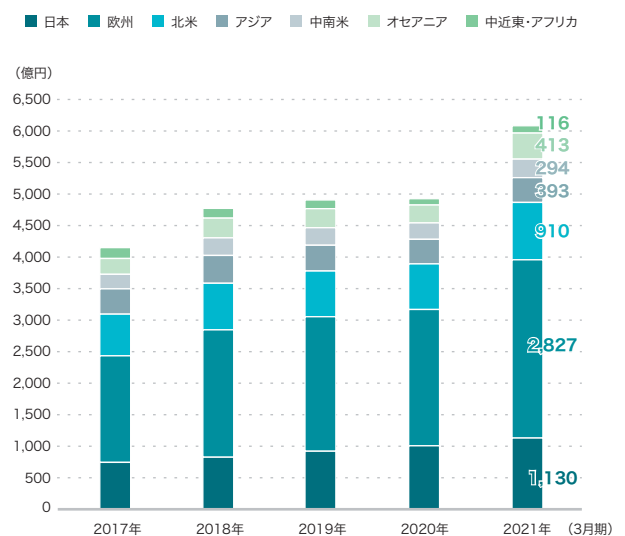
社名	株式会社マキタ
本社所在地	〒446-8502 愛知県安城市住吉町3丁目11番8号 電話 (0566) 98-1711(代表)
URL	<a href="https://www.makita.co.jp/">https://www.makita.co.jp/</a>
創業	1915年(大正4年)3月21日
設立	1938年(昭和13年)12月10日
代表取締役	取締役会長 後藤昌彦 取締役社長 後藤宗利
資本金	242億561万円
従業員数	18,624名
事業内容	電動工具、園芸用機器、エア工具、家庭用 機器等の製造・販売

連結子会社	53社
主要な 連結子会社	<b>販売拠点</b> マキタ U.S.A. Inc. マキタ(U.K.) Ltd. マキタ・ヴェルクツォイク GmbH(ドイツ) マキタ・フランス SAS マキタ Oy(フィンランド) マキタ LLC(ロシア) マキタ・オーストラリア Pty. Ltd.  <b>生産・販売拠点</b> 牧田(中国)有限公司 マキタ・ド・ブラジル Ltda.  <b>生産拠点</b> 牧田(昆山)有限公司 マキタ EU S.R.L.(ルーマニア)

## 連結売上収益・営業利益率



## 地域別売上収益





[www.makita.co.jp](http://www.makita.co.jp)

株式会社 マキタ

〒446-8502 愛知県安城市住吉町3丁目11番8号  
Tel.0566-98-1711 (代表) Fax.0566-98-5580